

## 萩原麻未、正直に飾らずに

9日、グリークのピアノ協奏曲

2010年のジュネーブ国際コンクールで1位になったピアノリストの萩原麻未。写真Ⅱが9日、東京・初台の東京オペラシティコンサートホールでグリークのピアノ協奏曲を弾く。

一躍、脚光を浴びてから2年。少しずつレパトリーを広げてきたが、のびのびした「天然」の弾きぶり

はそのまま。自分に正直で飾るところがない。「演奏会が終わった後で『よかったね』と言われるのが苦手。むしろ『こうしたらもっとよくなる』と言われたい

グリークは好きな協奏曲のベスト5に入るといふ。演奏会で弾くのは2度目。「まだ人前で弾くのがあまり得意じゃない。お客さんを意識しはじめると、集中力を保つのが大変で」。だが、いったん会場の雰囲気になじめば、大胆なまでに天衣無縫なピアノを聴かせる。

リュウ・シャオチャ指揮のフィルハーモニア台湾とは初顔合わせ。フレッシユな演奏になりそうだ。

570・06・99600。

